

幼稚園自己評価をするための保護者アンケートの結果

2021年3月

園長 副島 由美子

この度は、保護者アンケートにお答えいただきありがとうございました。世帯数の60パーセントの回答をいただきました。下記の1に示された①なっている ②ほぼなっている ③なっていないについては、ほぼ全員の方が、「なっている」との回答をいただきました。

記述欄にも、これまた心温まるご意見や励ましをいただきました。重複する内容は割愛させていただきながらも、なるだけの意見や希望を書かせて頂きました。すべてに目を通しながら、いつもながらに、力になる励ましやご理解をいただけたこと、嬉しい限りです。尚、この結果につきましては、今後、ホームページに掲載したり、評価委員の方々に郵送してご覧いただいたり（今年度は、コロナ禍ということで委員会ではできませんでした）、教職員や理事会での話し合いの資料にして、今後の幼稚園運営に生かしていく所存です。

1、園の教育目標やめざす子ども像に適した教育・保育内容であるか？

○「どの子にも友達と自然な生活を」という理念は、一見当たり前と思いがちだが、ここに重きを置いて保育をしてくれることは凄いし魅力的なところである。これからの時代、非認知能力が高い人材が求められる中、その力を育むのは池の川幼稚園のカリキュラムなどが、生きてくると思われる。○子どものありのままを受け止め、たくさんの愛情を注いでくれたこと有難い。○日々の生活やあそびの中で、自ら学ぶことや友達や先生から学ぶ事が多く、自分で遊びや興味を見つける力が育った。○3年間で学んだ生きる力を土台に、自分を認めてもらえる・信じてもらえる・他人を認める・ヒトを大切にできるようになりました。○自然の中で、友達や異年齢とのかかわりが良い刺激となり「やってみようかな、出来そうかな」という気持ちが育つ。○おれな保育に感謝です。○様々な自然が身近に、当たり前のようにある環境で存分に遊びながら様々なことを学び、体験や気持ちを共有しあひながら成長をしている。○一人一人のやりたいことを尊重してくれる。○先生方が本気で遊んでくれる。○先生方がみんなで子どもたちに関り「見守り導く」教育をしている。○自分の頭で考え行動する力を育ててくれている。○子どもの気持ちに寄り添い、子どもの意欲や勇気が育つまでじっくり待つ取り組みが有難い。○子どもが子どもらしくいられる。○先生方が子どもの意思を尊重してくれ、子どもの話を優しく聴いてくれる。そうした先生方をみて、きっと子どもの話を聴くことのできる大人になると思う。○子どもたちの「やりたい」気持ちに寄り添い、回り道とわかっていても一緒に考えたりやってみたり試すことを大切にしているのを感じる。答えを教えずに、自分なりの答えを出すことができる経験は、大人になったと時に違いが出てくると我が子を見ていて感じる。○コロナと共に過ごした1年、幼稚園の門をくぐると、いつもの幼稚園。子ども達の元気な声や姿、お母さん同士の活動や交流、先生方が、「日常生活」を大切に、日々子どもたちのためにと考えて見守ってくださったからこそ、今までと変わらないような日常を送らせてもらった。

2、行事について

日常生活と同様、行事も年齢にふさわしい参加や取り組みが出来、かつ子どもたちが主人公になることに心掛けて取り組んできました。お子さんからの話や様子、クラスだより等で知ることが多かったとは思いますが、保護者の方々から見ていかがでしたか。感想や行事にまつわるエピソード等ありましたらお伝えください。

○短い幼年期、その1年をどう過ごしたかはとても大事である。そうした中、全てを中止して人を避け、怯える1年を過ごした思い出より、困難な時こそ気を付けながら日常を送れるように頑張る先生たちの姿が見られた1年は、雲泥の差があると思う。○コロナ禍の中、先生たちの工夫や子どもを常に真ん中にする考えが本当に伝わった。○コロナ禍の中「今、この状況でできること」を考えてくれ、結果的にいつもにも増して楽しく心に刻まれる行事になったと思う。中でも幼稚園に泊まるというお泊り保育（これまでは園外での泊まり）は、初めての試みで、内容も濃く良い思い出となる。○秋の遠足で拾ってきた木の実や木の葉を飾って行った秋祭り（収穫祭）も素敵な行事だと思う。○一つ一つ完結する行事ではなく、次に繋がっていく、派生していくところが良い。○全園児でかつ野外で運動会ができてよかった○遊びの延長としての運動会は、年長児の頑張りがたくさん見られて感動した。○その年の子どもたちの興味に合わせて内容を考えている運動会は印象的である。○コロナの影響で、急遽中止になった成沢小との交流会もグラウンドからの見学ということで実施していただき子どもはとても喜んだ。○年長のこいのぼり作りが出来なかったのは残念だったが、思っているのは親だけで、我が子は頭巾やテッシュケース、サンタの靴下、枕とたくさんの縫物が出来て十分なようです。○一つ一つの行事の重ねが本人の自信につながっている。○園行事以外でも、二十日大根を育てる「食育」や誕生者のいない日の散歩など考える園は素敵。○季節を感じさせる行事が良かった。節分で豆を炒ったり鰯を焼いて食べたり。クリスマスまでの準備そしてそれがあったからこそその楽しみ方がよかった。○子ども目線で取り組む行事は、子どもが心から楽しめた。○来年は、今年できなかった父の日の集いや父親保育参観日をぜひやってほしい。○遊びが学びになっていると思う。

3 保護者の方との相互理解をはかるための取り組みについて

教育・保育にとって、保護者との連携や相互理解・信頼関係は欠かせません。そのための一助になることを願って、個別懇談会を行ったり、クラスだより等を発行したり、ホームページを更新したりしてきました。こうした取り組みへのご意見を。

○HP が新しくなりとても見やすくなった。まめに更新をしてくれるので楽しみに見ている。更新をしたときは何らかの形で連絡があるとよい。○クラスだより・園長だより・給食弁当だよりを楽しく隅々まで楽しく読んでいます。子どもたちの様子が写真や文章からよく伝わり、子どもの成長を感じることができる私の宝物である。○子どもとの会話のきっかけになっている。○子どもが家でちらほら話すことと、丁寧なおたよりを見て「そうだったのか」と繋がる。家と園が繋がって、子どもと話せるのはとても安心出来て楽しいです。○園での生活を見ることができないので、とても助かる。○気軽に相談できたり、園での様子を話してくれる先生方の人柄で、園と保護者のコミュニケーションが密にとられていると感じている。○玄関の写真掲示も大好きです。○個別面談は、子どもの園での様子や内面のあり様が話出来て貴重な時間である。○コロナで今年度は懇談会がなかったけれど、何を聴いても、子どもの様子を詳細に教えて頂け、一人一人をしっかりと見て下さっていることが伝わる。○園長が毎朝門立ちをしてくれるのは、相談しやすい環境で有難い。○忙しい中、子どもたちのことを考え、保護者のことまで気遣ってくれ精神的に支えてもらった。○出来なかったからこそ、おかあさん方の親睦会の大切さがわかった。○クラスにかかわらず、途中入園の子の紹介があるといいなと思う。○先生方が、一人一人をよく見ていることに驚かされます。○先生方が撮って下さる写真が有難かった。特に、日常の写真は、より子どもたちの様子が分かり嬉しかった。○園長の子ども目線の写真、子どもの気持ちに寄り添った文面、子育てに大切なメッセージを綴ってくれクスッと笑ったり背中を押してもらった。

4、その他幼稚園に対する希望や意見

○子どもたちの元気な歌が聞きたい。○給食弁当は、親の負担軽減と家庭では出さない食材に触れられる機会になってよかった。○柔軟な対応に感謝です。○バスの関係者を含め、全教職員に見守ってもらった。○ネガティブにとらえがちな子どもの言動も、肯定的、とてもフラットな目線で見守って下さり、救われたり、気づかされることがたくさんあり、感謝している。○園のため、子どものための活動が結果、お母さんたちの楽しい時間になって楽しかったです。○コロナが落ち着いたらざっくばらんの会や講演会の再開をしてほしい。○初めて幼稚園に来る方が、どこから入ったらいいか迷っているのを見かけるので案内があるといいかも。○入園して、みんなと一緒に生活し、いろいろなことに挑戦してどんどん成長していく我が子を見ていて、不安だった「これから先」がとても楽しみに思えるようになった。○卒園してからも母親同士が集まれるOB会や先生と話をしたり相談できる機会があるといいな。○子ども一人一人と向き合い、気持ちや行動を認めてくれる幼稚園。信頼して安心して通わせることができた。○園庭開放はありがたかった。○英語教育とまではいかななくても、異文化や異言語に触れる機会が持てたらと思う。

PS

今年度、最初で最後の保育参観の感想をいただいたので、付け加えさせていただきます。

○一生懸命に歌っている姿に涙が浮かびました。子どもの持っている力って凄いと思いました。これから卒園し、小学生になることに、親子で不安もありますが、子どもの力を信じて見守りながら子育てをしたいと思った。幼児期に思う存分遊んでそこから得た学びそして気づきが経験出来て本当によかった。

○事前にいただいたおたよりを読んで、今何をしているのかが良く理解できた。子どもたちのやりたいこと、ひとりひとりの意見を聞き出し尊重し寄り添ってもらえたからこそ、一人一人が納得をして、同じ方向を向けるのだなと思いました。

○子どもたちの歌を聞いて、3年間のこどもたちの成長ぶりが感じられ胸が熱くなった。卒園記念活動は、一生懸命話し合って決めたのだろうと我が子の話を聞いて思いました。話合いをした日、我が子は「とても疲れた」と言っていました。真剣だったので疲れたのだとおたよりで分かりました。こんなにいろいろ自分たちで話し合って決めることができるようになったのだなと思いました。・・・年少・中・長・男女と混じりあって遊ぶ姿は微笑ましく、うらやましくも感じます。子だけでなく親同士も仲良く大声で笑い会える池の川幼稚園は最高です。

○大きな口を開けて元気いっぱい歌っている姿に、成長を感じて胸がいっぱいになりました。そして先生からの注意点を聞いてからの2回目の「100パーセント勇気」の歌。一人一人が「はやくならないようにうたう」ことを気にしながらうたっているのが伝わりました。先生と子どもたちで、いろいろなことをこの1年つくりあげてきたからこそ、みんなが一つになって歌うことができているのだなと感じました。